

1 学校給食の概要

○学校給食実施状況等調査結果（平成27年 5 月 1 日現在）

（１）給食形態別実施状況

県内の公立学校で学校給食を受けている児童・生徒数は約17万4千人であり、平成26年度に比べて約1.8%の減です。

区 分	児童・生徒数(人)	完全給食(人)	補食給食(人)	ミルク給食(人)
小 学 校	112,080	111,885		
	(114,121)	(113,994)		
中 学 校	59,273	58,700		399
	(60,060)	(59,657)		(313)
小 計	171,353	170,585		399
	(174,181)	(173,651)		(313)
特 別 支 援 学 校	2,381	2,070		27
	(2,440)	(2,077)		(11)
夜間定時制高等学校	914	415	104	
	(966)	(582)	(110)	
計	174,648	173,070	104	426
	(177,587)	(176,310)	(110)	(324)

（ ）内は、平成26年度（平成26年 5 月 1 日現在）の数値です。（以下すべての表に共通します。）

（２）調理方式別実施状況

公立小・中学校における調理方式別実施状況は、学校数の比率で見ると、単独校調理場方式が33.9%、共同調理場方式が66.1%となっています。

区 分	単独校調理場方式		共同調理場方式	
	学校数(校)	比 率 (%)	学校数(校)	比 率 (%)
平成27年度	187	33.9	365	66.1
(参考)平成26年度	193	34.7	363	65.3

(3) 米飯給食実施状況

完全給食を実施している公立小・中学校においては、すべての児童・生徒が米飯給食を受けています。

また、週当たりの平均実施回数は3.46回です。

区 分		平成27年度	(参考)平成26年度
実 施 率	学 校 数	100.0%	100.0%
	児童・生徒数	100.0%	100.0%
週当たり 平均実施回数		3.46回	3.45回

(4) 学校給食費

保護者が負担する学校給食費（パン、米飯、牛乳、副食等の食材料費等）の平均月額、平成26年度に比べて小学校で約0.7%、中学校で1.9%の増額、夜間定時制高等学校で4.9%の減額となっています。

区 分		平 成 2 7 年 度			(参考)平成26年度	
		給食回数	給食費月額	対前年度増減率	給食回数	給食費月額
小学校	低学年	203回	4,983円	0.2%	204回	4,971円
	中学年	203回	5,039円	0.6%	204回	5,009円
	高学年	203回	5,104円	1.2%	204回	5,044円
中 学 校		201回	5,812円	1.9%	202回	5,705円
夜間定時制高等学校		177回	4,941円	△4.9%	179回	5,196円

(5) 栄養教諭・学校栄養職員配置状況

公立小・中学校（共同調理場含む）、特別支援学校、教育委員会の栄養教諭・学校栄養職員常勤数は289人で、平成26年度に比べて3人の増となっています。

なお、栄養教諭は119人で、28人の増となっています。

区 分	栄養教諭 (常勤)	学校栄養職員（常勤）			計
		公立小中	特別支援	教育委員会	
平 成 2 7 年 度	119人	154人	12人	4人	289人
(参考)平成26年度	91人	176人	12人	7人	286人

(6) 学校給食調理員配置状況

公立小・中学校（共同調理場含む）の学校給食調理員数（派遣職員含む）は、1,783人であり、平成26年度に比べて13人の増となっています。

また、学校給食調理員のうち、非常勤職員の比率は約40.9%となっており、平成26年度に比べ0.5ポイントの減となっています。

区 分	常 勤		非 常 勤		計
	職 員 数	比 率	職 員 数	比 率	
平 成 2 7 年 度	1,053人	59.1%	730人	40.9%	1,783人(360人)
(参考)平成26年度	1,037人	58.6%	733人	41.4%	1,770人(363人)

() 内は派遣職員数で内数です。

(7) 学校給食用食器の使用状況

公立小・中学校の使用食器を材質別に見ると、ポリエチレンナフタレートが約56.3%と一番多く、次いでポリプロピレン、強化磁器となっています。（重複回答あり）

区 分	ポリエチレン ナフタレート	ポリプロピレン	強化磁器	耐熱ABS 樹脂	メラミン
平成27年度	311校(56.3%)	224校(40.6%)	77校(13.9%)	48校(8.7%)	40校(7.2%)
(参考)平成26年度	292校(52.5%)	259校(46.6%)	78校(14.0%)	37校(6.7%)	34校(6.1%)
区 分	ポリカーボネート	アクリル	シクロレフィン ポリマー	アルマイト	漆 器
平成27年度	40校(7.2%)	26校(4.7%)	24校(4.3%)	6校(1.1%)	2校(0.4%)
(参考)平成26年度	27校(4.9%)	20校(3.6%)	24校(4.3%)	0校(0.0%)	2校(0.4%)